

日本農業気象学会2009年度第2回理事会議事次第

日 時：日時：2009年6月12日（金）13:00～17:00

場 所：東京大学農学部7号館 A 棟7階717号室（東京都文京区弥生1-1-1）

出席者：岡田，青木，大政，蔵田，北野，朝倉，五十嵐，大野，吉本，富士原，平野

欠席者：皆川，小林，後藤，皆巳，田中，町村，菅谷，小沢，松岡，黒瀬，星

[議事録等確認]

1. 2009年度第1回理事会議事録報告（資料1）
 - ・報告の通り承認された。
2. 2008年度評議員会議事要旨報告（資料2）
 - ・報告の通り承認された。
3. 2009年度総会議事要旨報告（資料3）
 - ・報告の通り承認された。

[報告・連絡事項]

1. 在り方委員会の活動（資料4）
 - ・大政委員長、林（陽生）副委員長、広田幹事の役員体制で活動する。
 - ・学会誌、終身会員制度、永年功労会員への称号制定について、資料に基づき理事会に提言が行われた。これらを審議事項として取り扱うことになった。
2. 他学会関係
 - ・地理関連学会連合：山川修治担当委員から送付された総会議事録(資料5)に基づき報告された。
 - ・日本地球惑星科学連合：鳥谷連絡員から送付された学協会長懇談会の報告書(資料6)に基づき報告された。
 - ・日本農業工学会：佐瀬代議員より送付された総会議案書からの抜粋(資料7,8)に基づき報告された。
3. 編集状況(資料12)
 - ・農業気象については、65巻3号は論文数が少なめだが4号では持ち直す見通しである。また ISAM 論文は21の見込みである。
 - ・生物と気象については、会議報告に「今こそ語ろうパッシブ制御」の報告を数回に分けて掲載の予定である。
 - ・あり方委員会からの諮問を受け、農業気象の英文誌化と電子ジャーナル化について検討中である。サイテーション等の評価の仕方、金銭的問題などを、最近電子英文ジャーナル化した他学会の例を参考に引き続き検討する。
4. 2010年全国大会準備状況
 - ・名城大学に後援を依頼した。
 - ・大会委員長印を引き継いだ全体に進捗が遅いのではとの懸念がだされた。

5. 2011年全国大会準備状況(資料13)

- ・3月18日(木)-20日(土)に鹿児島で開催の予定である。
- ・ISAMならびに、シンポジウムについても開催予定である。
- ・大会ホームページの運営方法が分からずにいる。

日程に関し、休みと勤務日が混ざらない方がよいのではないかとの意見がだされた。

6. 学会賞審査体制に関する検討の進捗状況(資料14)

学会賞審査委員会の改革、ならびに、農学賞の推薦について検討結果が報告され、理事会に提言がなされた。これらを審議事項として取り扱うことになった。

7. 協賛・共催, 他(資料8)

資料に基づき報告された。

8. その他

- ・農学進歩賞の公募が報告された。学会としては推薦をせず、HPでの周知にとどめることになった。
- ・CIGR 国際シンポ2011が日本農業工学会により開催予定であり、必要に応じ協力を要請される可能性があることが報告された。
- ・日本学術会議科学者委員会より分野別委員会委員長宛に「学術の大型研究計画に関する調査(第2回)」が依頼されたことが真木名誉会員から連絡された。案件がある場合は会長経由で委員長に提出する。

[審議事項]

1. ポスドク会員の扱い

学会費は原則前払いであるが、ポスドクの決定は会計年度以降であることが一般的であることから具体的な運用について検討した。検討の結果、次の運用が決まった。

- ・次年度分の前払いを今年度受け付ける
- ・会員は該当年度に見込まれる会員種別での会費を前払いする。
- ・当初見込まれた会員種別とは異なった場合は、申請して精算を受ける。

2. 支部長会議(拡大理事会)(資料10)

- ・次回理事会を、9月15日 15:00-16:00とし、支部長を含めた拡大理事会を同日 16:00-18:00に開催する。
- ・事前に実施するアンケートにおいて、本部への要望・提案を聞く設問を追加する。
- ・アンケート結果については、事前に参加者に送付する。
- ・会議の進行は会長が行う。

3. ウェブページの改訂について(資料11)

- ・資料で示された検討すべき事項について、背景や具体的な問題点、費用の見積もり等を示したうえで改めて検討する。

4. 日本地球惑星科学連合への加盟

加盟することが決定した。

5. その他

+ 学会の広報活動(チラシなど)について

学会活動の概要と入会案内を記した資料を作成する。広報・企業担当委員会で作成する。

+ 日本農業工学会の次期代議員について

次期の正会員代議員(1名)を岡田会長が、海外会員代議員(1名)を青木副会長が人選し依頼する。

削除：時期

+ 在り方委員会の答申の検討

・ 学会誌について、

「農業気象」については、英文誌とし ISI 登録誌を目指す。また、電子ジャーナルに変更する。

「生物と気象」については、冊子版とオンライン版の2通りで作成する。内容には和文原著論文、普及情報を想定し、支部との合議により、支部大会の要旨、支部会誌の内容も含める。

それぞれの版の目的や内容、編集体制を編集委員会でさらに検討する。

・ 会員種別「終身会員」の設置について

退職が近い者を対象に、会費を一括納入する会員種別を新たに設置することを検討する。60歳以上、正会員と同じ特典と義務、正会員会費10年分マイナスの会費を基本に詳細を総務、庶務、会計で検討する。

・ 日本農業気象学会フェローの称号について、

永年功労会員表彰者に日本農業気象学会フェローの称号を授与する。このために必要な規程等の変更について、詳細を総務・庶務で検討する。

+ 学会賞審査体制に関する検討会の答申の検討

答申事項のうち、委員長・小委員会委員長の任期は1年とし学会賞授賞者に限定する(答申3)、一度推薦された業績は3年間有効とする(答申4)、必要な規約の改正を行う(答申5)、数年間実施し問題点があれば改善する(答申6)ことが了承された。

委員数(答申1)および任期(答申2)についてはメール審議により継続する。また、規程を改正し、受賞者数を若干名に改める。

+ 農学賞授賞候補者の学会からの選出方法について

昨年通り、候補者を理事会で審議して決定する。

+ 次回理事会を2009年9月15日15～16時に開催する。